

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 社会 科目 公共

教科：社会

科 目： 公共

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：（ 舟久保 大輔 ）

使用教科書：（ 高等学校 公共 （数研出版） ）

教科 社会

目標 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想した議論を力を養う

目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を多面的に解決しようとする。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	巻頭特集 公共的な空間を作る私たち 巻頭特集1 大人ってどんな人 巻頭特集2 お互いを理解し尊重するために 巻頭特集3 誰でもが生きやすい社会へ	・青年期の特s超と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解し、豊かな自己形成に向けて、他者とともによりよく生きる自己の生き方についての理解を深める	(知)自分自身が、自主的により良い公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともにより良い社会の形成に結びつくことについて理解している。	○	○	○	2
	第1章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第1節 西洋近現代の思想 第2節 現代の諸課題と倫理	先哲の考えの理解に基づき、公共的な空間における人間としての在り方・生き方について自分の意見を表現する個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方について理解する。	・より良い社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としての在り方、生き方についての自覚を深めようとしている	○	○	○	6
	第2章 公共的な空間における基本原理 第1節 民主社会の基本原則 第2節 日本社会の基本原則	・個人の幸福と社会の幸福の調和を目指した、ベンサムとJSミルの考え方を理解する。	授業態度 ノート提出 定期考査	○	○	○	8
	第3章 ルールをつくり守る私たち 第1節 法と契約 第2節 司法参加の意義	・個人の尊重と基本的人権の保障、法の支配や立憲主義国家の基本的原理を理解し、国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察する	授業態度 ノート提出 定期考査	○	○	○	5
	第4章 政治に参加する私たち 第1節 政治参加と民主政治の課題 第2節 国際政治の動向 第3節 国際政治の課題と日本の役割	・政治参加の意義と責任を理解し、世界各国における政治体制の成立要件・歴史を理解する。 ・国際社会の変遷、現代の国際紛争の諸要因について理解し、政治の多用性について考察する。	授業態度 ノート提出 定期考査	○	○	○	12
2 学 期	第5章 経済活動を行う私たち 第1節 経済の仕組みと産業の変化 第2節 市場経済の仕組みと金融 第3節 財政と社会保障	・国際経済についての基本的な知識を身に着け、グローバル化する経済が抱える課題について多面的・多角的に考察する	授業態度 ノート提出 定期考査	○	○	○	11
	第5章 第4節 国際経済の動向と課題	・国際経済の改題解決には国際協調や自他の文化・宗教などを尊重する相互理解と寛容の精神が必要であることを理解する。	授業態度 ノート提出 定期考査	○	○	○	10
3 学 期	課題探求	公共に関わる現代の諸課題を取り上げ、何が問題なのか、なぜ問題なのか、解決方法はあるのか、議論を通じて理解を深める。	授業態度 ワークシート提出	○	○	○	6
							合計 60